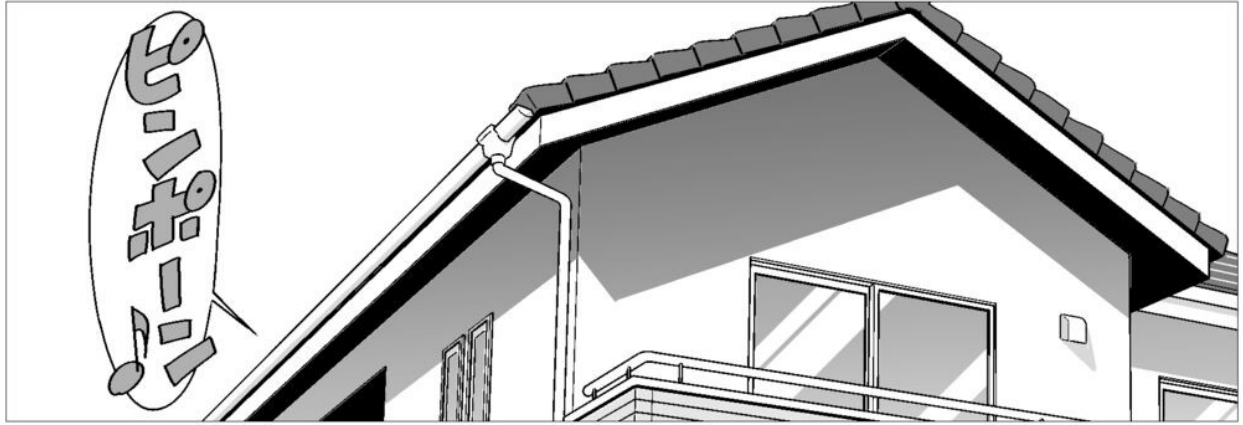


隣のママの  
おっぱい♡







今日は  
どうしたの？

あ、あの…

あら  
ご苦労様

これ  
閲覧板です



ふふふ  
ごやん



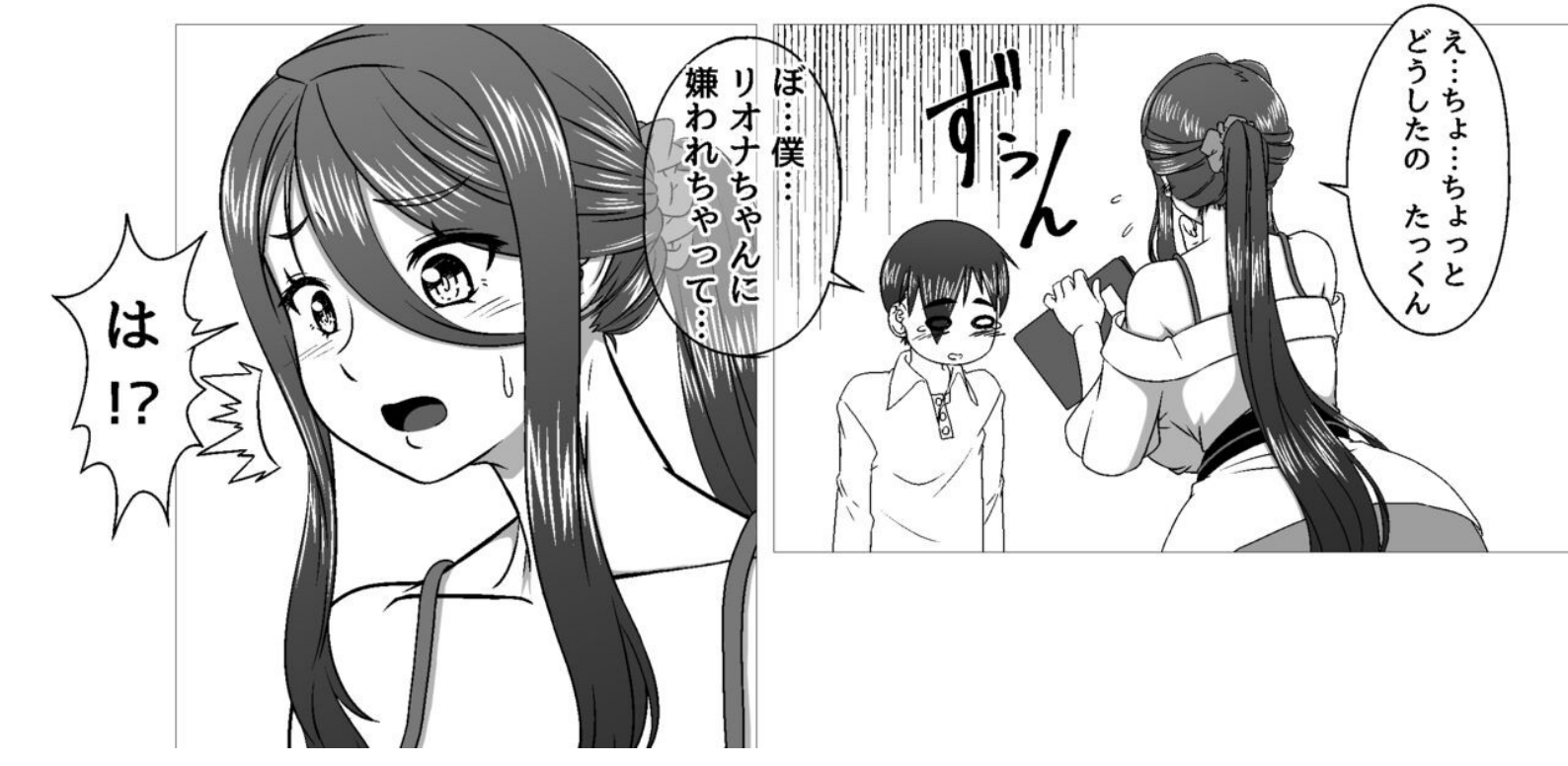
あでも今リオナは出かけてて……って

ええっ!?

じわっ

プル

プル



ほ…僕…  
リオナちゃんに  
嫌われちゃって…

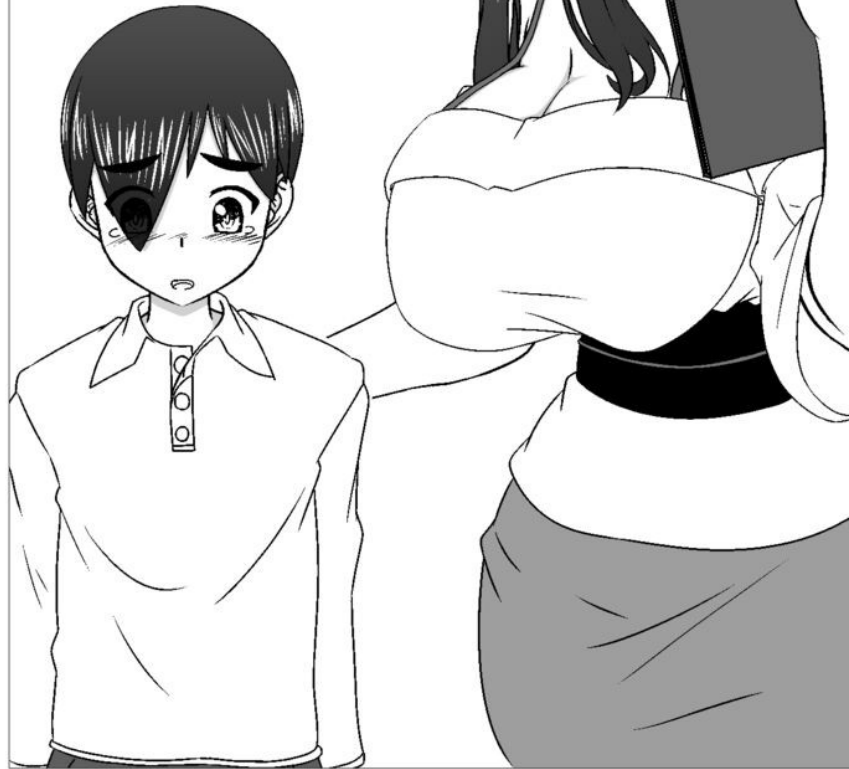
え…ちよ…ちよっと  
どうしたの たつくん

ずん

は!?



と…とりあえず  
中に入って 話を  
聞かせてちょうだい



で…

コホン



う…うん  
ごめんなさい  
急に…



どう たつくん  
少しは落ち着いた  
かしら？



リオナに嫌われ  
たつて…あのコと  
ケンカでもしたの？

ケ…ケンカって  
いうか…

リオナちゃん…  
僕のコト  
気持ち悪いって—

えっ!?!  
気持ち…えっ!?!

しよぼ…



あのコつたら  
一体どういう  
つもりで…

たしかにたつくんは  
ちよつと気弱な  
トコがあるけど—

あー…  
さすがに  
気持ち悪いって  
いうのは…



キョウ





友達と一緒に観た  
動画に映ってたのと  
僕のが全然違うって…



あー…

あのね…何から  
つつこめばいいのかしら  
えっと…私も軽く混乱  
してるんだけど…



おつきくてビクビク  
してて気持ち悪いって…  
ヘンだ おかしいって

待って たっくん  
ちよつと待って  
ちようだい





それは…自分が観たのが  
本当だったのかどうかを  
ちゃんと確かめたいって  
…



そもそも どうして  
あのコがたつくんの…  
その…おちんちんなんて  
見る事が出来たの？



あ…え…  
そんな…

ごめんなさいね  
たつくん リオナの  
せいで嫌な思い  
させちゃって…

一つ間違えたら  
大問題になってる  
トコじゃない…



一緒に宿題をしてる時  
僕のズボンとパンツを  
ごーいんに…

気が付いたら もう  
下がスースーしてて…



と…  
とにかく



こんな時でも  
リオナに気なんか  
つかっちゃって…

そこがこの「の」の「イ」を「い」に  
なっただけで…ちよってどきどき  
なっちゃうのよね



いいや…別に…本当に  
僕の…が…その…ヘンなの  
かもしれないし…それに  
他の人と…が違うからって  
気にする事なんて

まあ…ウソよね  
めちやくちや気に  
してるって顔  
しちやってるし



今のたつくんには  
あまり効果は  
無さそうよね…

気にするなって  
言うのは簡単  
だけど…



まったく…こんな  
いいコをしょーもない  
アホな事で  
追い込んで…

リオナにはあとで  
みっちりお説教だわ



というか…たつくんだし  
いっそのコト自分に  
自信をつけさせるくらい  
じゃないと——



要はたつくんに自分が  
全然ヘンじゃないって  
理解してもらえれば  
いいのよね？



自信…  
自信かあ…

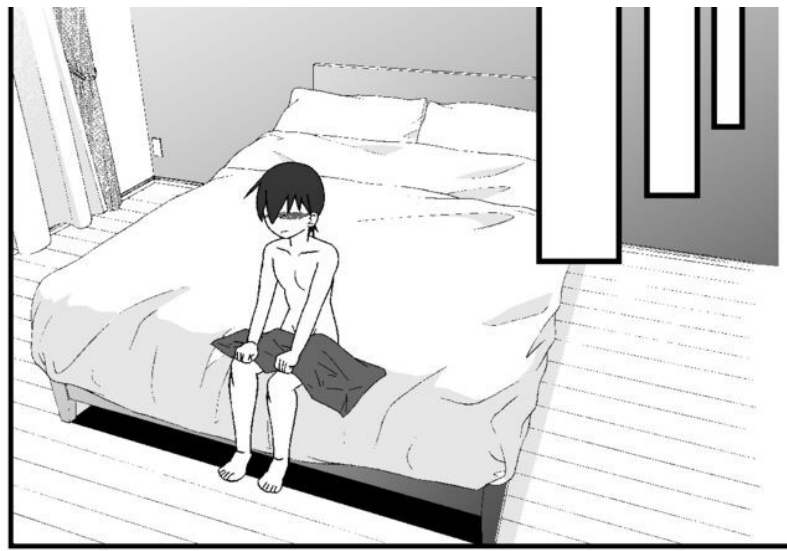


あのね たつくん…  
これはおばさんからの  
ちよつとした提案  
なんだけど——



お…  
おばさん…？

……





だから…私の  
恥ずかしいトコロも  
たつくんに見せて  
あげる♥

ぽよん



うん

たつくんのが本当に  
ヘンなのか確かめて  
あげるわ  
でも たつくんだけ  
恥ずかしいのは  
ちよつと不公平でしょ？



ずっと前から  
キレイで優しくて…  
素敵なおばさんのコト  
ずっとス…憧れてて…

だから 今  
恥ずかしいけど…  
それ以上に…その  
…嬉しいっていうか  
ドキドキしちゃう  
るよ！



まあ こんな  
おばさんのじゃ  
たつくんは  
嬉しくないかな

そんな事  
ないよ!!



ぼ…僕…



え？

卍キ…

そ…そう…

たつくんが私の事  
そんな風に思ってた  
くれてたなんて全然  
気が付かなかったな…

ちよつと意外というか  
ビックリしちゃったというか…  
うん…もちろん嬉しいんだけど  
いきなりだったんでどう応えたら  
いいのか—



…って何 動揺  
しちゃってるのよ  
私—

フホッ  
と…とにかく…  
えつと…じゃあ  
たつくん そのまま  
よこになつてもらえら  
かしら



んお…



まあっ♡

ひょん♡





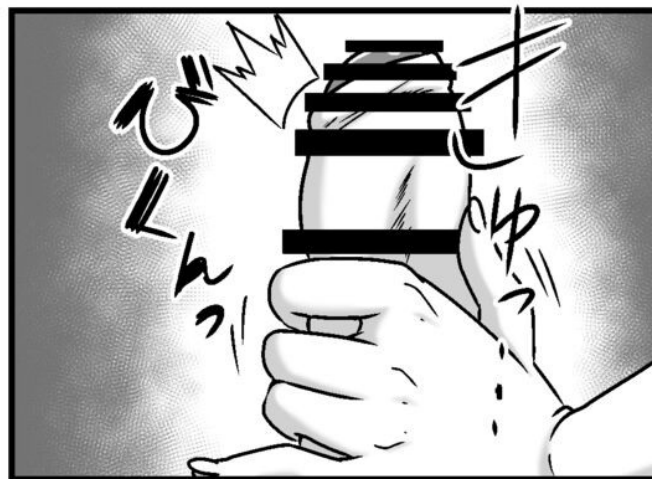
確かに… たつくんの  
イメージからは  
ちよつと想像しづらい  
大きさがしらね♡

クス♡



あら…？ たつくんの  
おちんちん… まだ  
おつきくなつてきてる…？  
これで限界つてワケじゃ  
ないのね…

ちよつと触つてるだけ…  
なのに… 今にも破裂しそうな  
くらい熱く滾つて… 何だか  
つらそうなくらい…

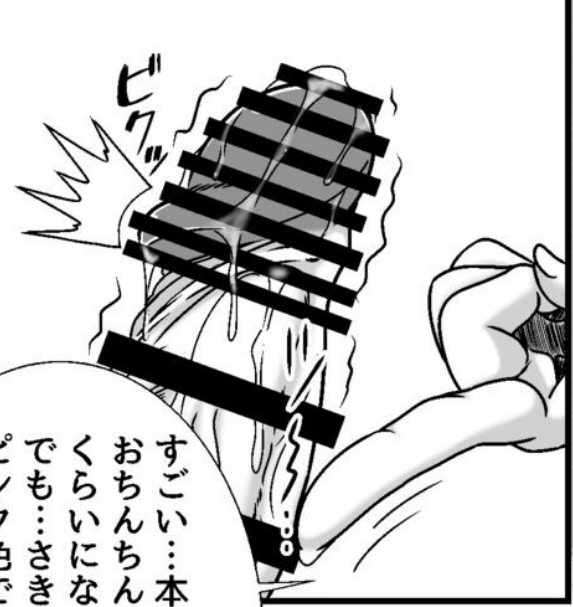


あうつ!!



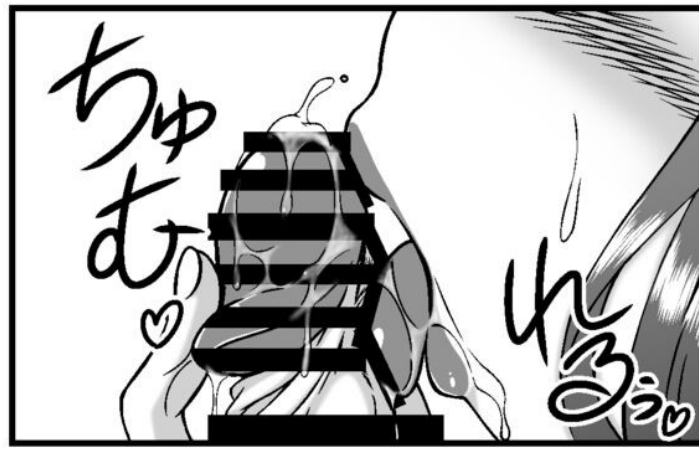






すごい…本当にたっくんのおちんちんとは思えないくらいになっちゃった…でも…さきつぽは綺麗なピンク色でそこはイメージどおりかしらね♡

それにもうすつごくパンパン…早くもつと射精したいって感じいいのよ たっくん…射精したくなったらいつでも好きな時に射精しちゃいなさい♡



私が全部受け止めてあげる♡







あらあら たつくんたら  
そんなに惚けた顔  
しちゃって…ちよつと  
刺激が強すぎたかしら？



んふ…すごくいっぱい  
射精しちゃったわね  
たつくん♡

本当に…すごい量…  
やけどしそうなくらいに  
熱くてねばねばの精液が  
こんな



私のほうが  
昂ぶってきちやう  
じゃない♡

久しぶりに触れる  
たつくん  
オスのほどばしり…  
こんなの



ヤダ…むせかえりそうな  
くらいキツイ匂い…  
けど…ちつともイヤじゃ  
ないわ…ううんむしろ





つまり… たつくんたら  
 おクチでしてあげるだけじゃ  
 ちっとも満足出来てないって  
 事よね♡

それなら

たつくんのおちんちん  
 全然萎えない…  
 ううん… それどころか  
 射精しちゃう前よりも  
 おつきくしちやつてる…



お  
 ろ  
 る  
 る  
 る

グ  
 イ  
 ン

♡











ふふ… たつくんたら  
そんなに 蕩けきつた 顔  
しちゃって… でも ちゃんと  
満足させてあげられた  
みたいで 嬉しいわ♡

なのに

おちんちんは全然元気なまま  
なのね…っというか何だか…  
最初のと全然違ってヤバイ  
感じにおつきくなってるない…？  
もしかしてあの娘…コレを  
見ちゃってたっくんにへんな事  
言っちゃったのかしら…



そう…よね ここまで刺激して  
おいてただ射精させてあげて  
おしまいなんてちよつとムシが  
よすぎ…よね

すごいわ…  
むせかえりそうなくらい  
濃厚でいやらしいオスの  
匂い—



ええ…今さらだけど  
ようやく私にも  
理解できたみたい

たっくんだって  
もう立派に一人の  
牡なんだって



そんな牡をたつくん  
その気にさせちやった  
責任はちやんと  
とらなくちや……ね♡

ファキ……

さあ……

今度はこっちよ  
たつくん♡

はぁ♡

ぬちい……

んん……

ぐちやぐちやに  
蕩けきつた私の  
この牝穴おまんこに……

たつくんのその  
ずつとカタいままの  
おちんちんを奥まで  
突っ込むの♡

いらあ……

とろお……

んちゅ……



はいった…  
ぼくのおちんちん…  
おぼさんの  
おまんこのなかに…

ええ…全部…  
根元までずっぽり  
挿入ったわ…ね

それじゃ…これから  
その立派なおちんちんの  
本当の使い方をじっくり  
教えてあげる♡

す…すごいよ…  
おぼさんのおまんこの中…  
ぐちゅぐちゅで  
とろとろなのに…  
キツキツでキモチいい…

おまんこ…

おまんこ…

おまんこ…

確かにすごいわ…

想像してたよりも  
ずっと強烈な圧迫感…

ちよつと余裕が  
なくなりそ…

これ…ヤバあ…

おまんこ  
りゅりゅ  
うう

たつくん…  
いきなり…  
そんな…激し…

やつ…  
ちよっと  
だめ…

ぶちゅん!!

ぶちゅん♡

ぶちゅん♡

あ♡

あ♡  
あ♡  
あ♡  
あ♡

ひん♡

あ♡  
ぶちゅん♡  
あ♡  
あ♡  
あ♡  
あ♡

おちんちん…きもち  
よすぎて…おぼさん  
のおまんこにぬぶぬぶ  
するの…  
とめらんないよお…!

ごごめんなさい…  
でもとめらんない…

こ…らあ…  
だめって言うてる  
のに…  
うん♡

ア  
ア  
ア

ア  
ア

ホントにダメえ…  
今 余裕のないのに…  
こんな荒々しく  
おまんこ掻きまわされ  
たら—



私…本気で  
たつくんに…  
たつくんのおちんちんに

本気で感じて…  
溺れちゃう…!!



んほみ♡

おちんちん♡

あ♡



ちゅ♡

はぁん♡

ちゅ♡

ちゅ♡

!?

はぁん♡

はぁん♡

ちゅ♡

はぁん♡



や...やだ...たつくんたら...  
私の膣内でおちんちん  
またおつきくして...!?

あぁん♡

んはぁ♡

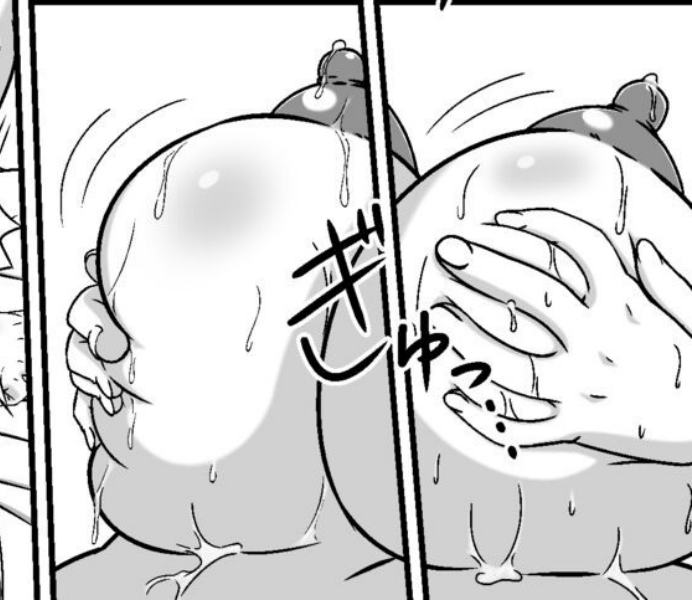
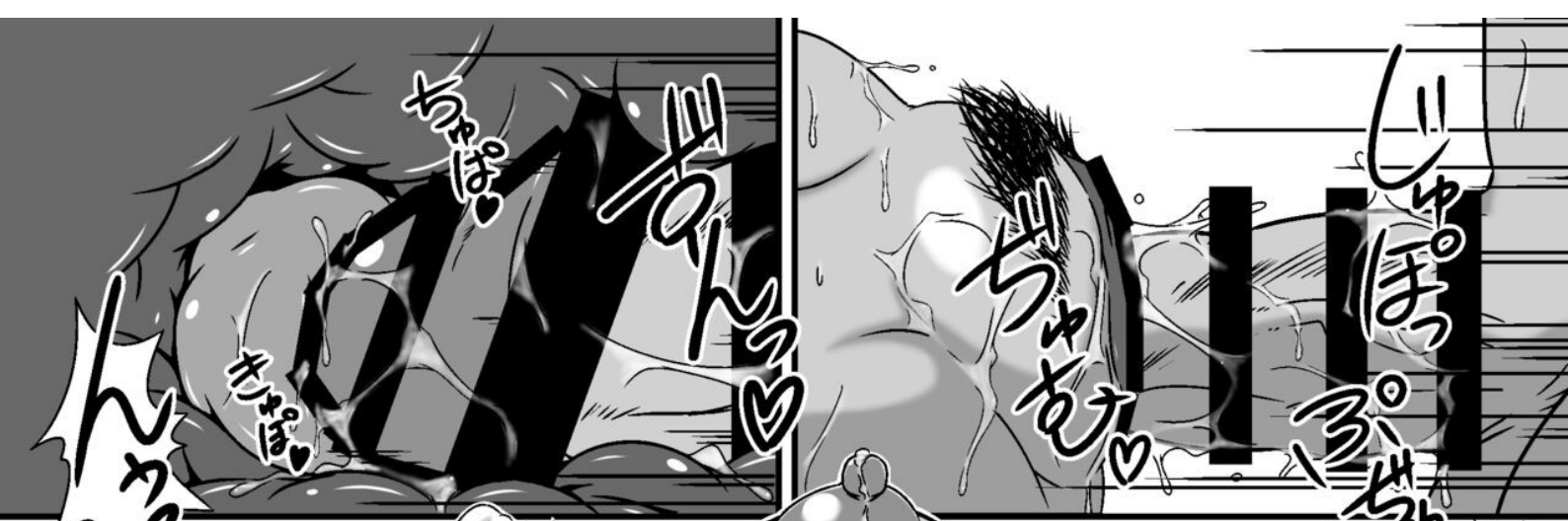
ちゅ♡

と...届いちやう...  
これ...おち○ぽ...  
奥に...子宮にまで  
届いて...入り口を  
ノックされちやつてらう...

はぁん♡

ちゅ♡

はぁん♡





よかった...!  
それなら—

グ  
イッ  
ツ

まじやろ?!

ぼくおばさんも一緒に  
気持ちよくなれるよう  
もつと頑張るよ...!

あ  
ち  
ゃ  
ん♡

ま  
ほ  
ま♡

なってる...んうっ...  
わたしもちゃんと気持ちよくなってるからあ...

あん♡

もう少し  
ペースを  
落して...

はあ♡

あん♡

あ♡

ズ  
チュッ♡  
ズ  
チュッ♡  
ズ  
リュ♡

私のほうが先に  
イカされちゃいそう  
…♡



おばさん…ぼく…  
もう…このまま  
さつきみたいです…

刺さるう…たつくんの  
おちんちん…もつと  
深くまで…んあつ…  
突き刺さつちやうう…







あうっ!!!

びゅっ!!  
まほま♡



ヤバ…これえ…  
たっくんのおちんちんが  
子宮口をこじあけて—

中に直接…精液を  
どびゅどびゅ注ぎ  
こんできてるう…

どいっ♡  
びゅっ♡





じりり

あ...?

あほ...  
あほ...

あほ...  
あほ...



あほ...?  
あほ...?

あほ...?

あほ...?  
あほ...?

あほ...?  
あほ...?

あほ...?



おほおほ♡

おちんちん♡

な...何を...  
ん...あん♡

そんな...今イッた  
ばかりなのに...  
くうん...っ...続けて  
なんて...やめ

アッ  
アッ

おほおほ♡  
おちんちん♡

ぬほほ♡  
おちんちん♡

そんなトコに  
おちんちん  
ヌコヌコするの  
覚えちや  
らめよお...♡

らめ...

アッ♡  
アッ♡

これ...イイ...  
おばさんのおまんこの  
一番奥のお口におちんちん  
ぬほほほつてするのが  
すっごく気持ちイイよお...

ズン  
アッ



はいりきらないくらい  
たつぷりの精液…  
直接ドピュドピュって  
射精されちゃってるぅ…♡

また…射精され  
ちゃってるぅ…  
イキっぱなしの  
子宮の中に—♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

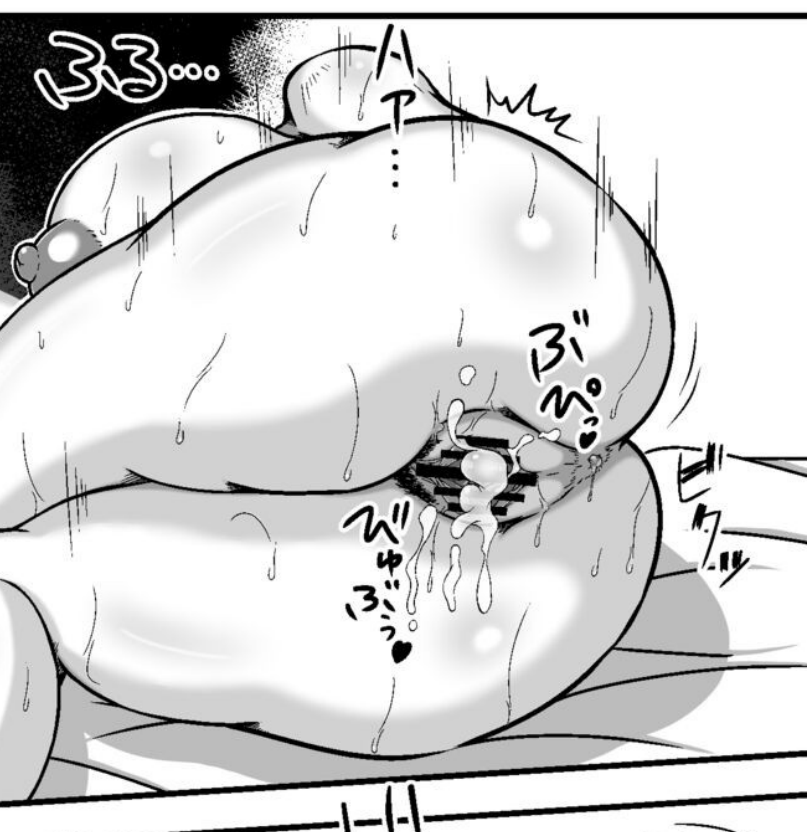
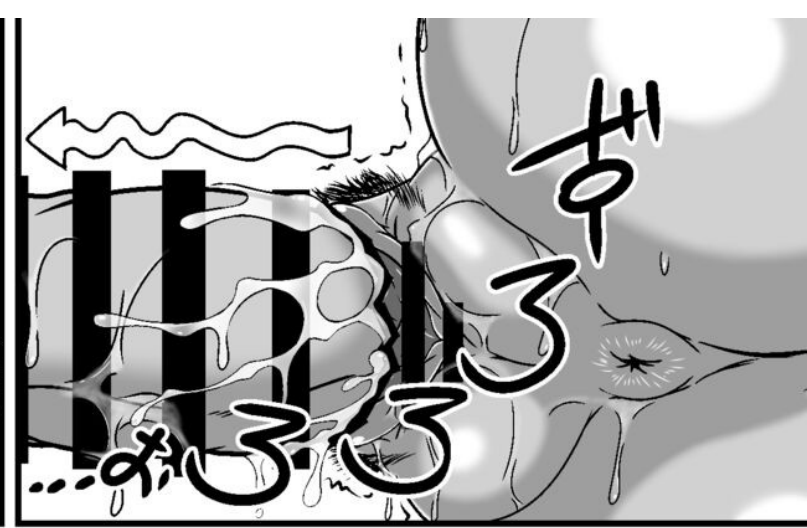
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡





それから――



だから…あの…  
もう少しだけ…僕と一緒に  
気持ちよくなってもらっ  
ていい…よね？



まほ♡

また…ヌコヌコらめえ…  
射精しっぱなしのおちんちん…  
んあっ…子宮に入れ入れ  
しないれえ…

私はたつくんに  
休むヒマもなく  
犯され続けた…

おかしくなりゆう…  
これ…続けられたらあ  
わらひ…本当に  
おかひくなっひやううっ



数え切れない  
ほどに――

ギシ...

ギシ...

にゅ  
む...

む  
ちゅ  
30りゅ...

|||||

ム  
ム  
ム

むちゅ...

ぽちゅ...

ギョ...

てん  
ギゅむ... ちゅ

私の身体はそれこそ  
余すところなく  
たつくんの熱い迸りに  
染め上げられていった...



陽が落ちて  
夜が更けても

あの娘が友達の  
家に泊る事になって  
帰って来ないと  
分かってからは

それこそもう  
一晩中——

おまよん♡

あ〜♡

また子宮の中に  
直接どぴゅどぴゅ  
してるう♡

あ〜♡

私の子宮…もう完全に  
たつくんのおちんちん  
ミルク専用袋に  
なっちゃったあ…♡

私はこの牡のための  
オナナ  
牝であるコトを  
求められ続けた——







私は毎日の様に  
たつくんに求められて  
彼の望むままに  
身体を許していた

それがいけない事だと  
頭では理解していても  
女としての悦びを  
思い出させられた私の  
身体は――

もう彼からの  
熱烈すぎるくらい  
要求を拒むなんて  
無理だった

んふ♡ たつくんの  
おちんちん…今日もすっごく  
おつきく元気で素敵  
私のおまんこの深いトコまで  
簡単に届いちちゃってるわ♡

このコリコリした  
えっちなお口のさらに  
奥がもつと気持ちイイ  
トコだつて…僕はもう  
知っちゃってるから

だつて…僕のおちんちんが  
おばさんをこんなにエッチに  
させちゃってるって思ったら  
ドキドキが止まらないんだ…  
それに――

だからいいよね？  
今日も―― 芙由美さんの  
大事な場所に僕のおちんちん汁を  
たっぷり射精しちやっても…!!











303/B

### 発行人

サークル：黒ノ杜

著者：まっくろろくすけ

### 発行日

2023年07月20日

### ※禁止事項

無断転載・複製

未成年者の購読

Web上へのアップロード

303/B

303/B

303/B

303/B



黒の杜

